

東京都立東高等学校 令和6年度 年間授業計画 (2学年)

教科の目標 :

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を想像していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【知識および技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
創造的な音楽表現するために必要な知識や技能を身に付ける。	曲想や楽曲の特徴を感じ取り、創造的な演奏表現の力を養う。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり、主体的協働的な学習活動を積み重ね、豊かな情操を培う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価基準	知	思	態	配当時間
			歌	器	創						
1 学 期	クラシックギターの基本を復習し、独奏曲や二重奏曲をマスターしよう。	タブ譜読みを確実にできるようにし、独奏曲に挑戦する。 相手の音をよく聴き、二重奏の響きを味わいながら楽曲を演奏する。		○	○		タブ譜読みを習得できているか。 運指法に慣れて、曲の流れを止めずに演奏しているか。 コードの移動がスムーズにできているか。 聴いた音を正確に記譜できているか。	○	○	○	26
	ソルフェージュに取り組み、リズム感覚を養う。	聴音を通じて譜面の書き方を覚える。 リズムの読譜力をつける。		○	○		音価やリズムを理解し、正しく譜面を書くことができたか。 リズム譜を正しく読み取れたか。	○	○		
	表現豊かに歌唱しよう	楽語や記号を読み取り、歌唱表現に生かす。 独唱曲1～2曲	○		○		発声方法を考えながら歌唱できているか。 表現の工夫が見られるか。 旋律を丁寧にとらえているか。	○	○	○	
	作曲家の生涯と時代背景について理解を深める。	歴史上の大作曲家を例に、人物像と時代にせまる。					楽曲について深く考察されているか。				
	西洋音楽史において、特徴的な場面や事柄について深く掘り下げる。				○		人物や時代観に触れながら楽曲を考察しているか。 鑑賞した楽曲の旋律やリズムについて意欲的な再現活動をしているか。	○	○	○	
	ギターとキーボードの二重奏を経験し、響きの味わいを深める。	演奏できるギターコードの種類を増やし、コミュニケーションをとりながら楽曲に取り組む。 他者の音の響きを聴きながら演奏をする。		○	○		コードや旋律に合わせて演奏できているか。 他者の響きを聴きながら、演奏できているか。	○	○	○	
2 学 期	クラスコンサートを企画しよう	クラスコンサート計画 ・提示曲または自由曲について形態や分担を考える。 ・どのような譜面を使用するかよく考える。	○	○	○		授業回数に合った内容の楽曲、形態、レベルを選んでいるか。 話し合いを重ねながら、役割分担ができたか。 楽曲レベルを見極めて譜面選びをしているか。	○	○	○	28
	ミュージカルを鑑賞しよう。	ミュージカルから生まれた名曲を味わう。 オペラとの違いや舞台の魅力を味わう。			○		ミュージカルの表現の特徴を感じ取り、言語化ができたか。 名曲の良さに気づき、味わいを深められたか。	○		○	
	クラスコンサートの練習を積み重ねよう。	クラスコンサート練習	○	○	○		仲間とコミュニケーションをとりながら練習を進めているか。 担当役割について責任をもって練習をしているか。 合わせ練習を積極的に重ねたか。	○	○	○	
	クラスコンサートを開こう	クラスコンサートの開会 演奏者と視聴者をどちらも体験し、表現の伝達について考える。	○	○	○	○	視聴者に何を表現しようとしているのか伝わるか。 練習の成果をどれだけ発揮できたか。 楽曲表現について深く追求できているか。	○	○	○	
3 学 期	合唱コンクールの曲について、計画的な練習スケジュールを立て、表現方法を追求する。	それぞれのクラスの自由曲と課題曲についてパート練習を地道に積み重ねる。 なぜ曲想を考えて表現することが重要なのかを深く追究する。	○				発声に気を付けようとしているか。 音程は正確か。 歌詞や楽曲に合った曲想を追求しようとしているか。	○	○	○	16
	混声4部合唱（ア・カベラ）に取り組む。	各声部との調和を意識し、全体の響きを味わう。 豊かな発声を目指し、ア・カベラの魅力を深める。	○		○		発声、発音を意識したうえで、他声部の響きを感じ取りながら歌えたか。 調和のあるハーモニーを創れたか。	○	○	○	
								合計	7		